



動画で  
イベント紹介



## 防災フェア2017 ～くらしの中に防災を～

8月27日、防災広場において「防災フェア2017」を開催しました。これは総合防災訓練の一環で、広く市民の皆さんに参加してもらい、楽しみながら家庭での防災力を高めてもらおうと初めて企画したものです。当日は、火災実験や放水体験、非常食の炊き出しなどがあり、親子連れら約1300人が会場を訪れました。高所作業車に乗って地上20mの高さから会場を見下ろしたり、救助隊員に支えてもらいながらロープ渡り体験をしたり、子どもたちは目を輝かせながら楽しく防災体験をしていました。



動画で  
イベント紹介

## 自然観察会「千曲川ラフティング」

千曲川の篠井川合流付近から古牧橋付近までをラフティングボートで下る「千曲川ラフティング」を7月31日から8月6日までの7日間にわたり開催しました。

期間中は、小学生から大人まで325人が参加。パドルを使って互いに水を掛け合ったり、流れの緩やかな場所で川に飛び込んだりするなど、千曲川の自然観察をしながら水と触れ合い、川下りを楽しみました。



## 2017中野市民音楽祭

8月26日、市民会館ホールにおいて「2017中野市民音楽祭」を開催しました。

当日は、市内の合唱団や吹奏楽団など23団体が出演し、美しいハーモニーと迫力ある演奏を披露。また、参加者全員で、開会時に中山晋平先生作曲の「砂山」を、休憩後に久石譲氏作曲の「君をのせて」を、そして最後に高野辰之博士作詞の「故郷」を合唱し、会場は澄みきった歌声に包まれていました。



## 中野市原産地呼称管理制度がスタート

8月23日、ホテル国際21 THE FIVE SEASONS NAKANOにて、中野市原産地呼称管理制度の品目別官能審査会を開催しました。これは、特産のトウガラシの一種「ぼたんこしょう」のブランド化に向け、生産地や品質の基準をクリアした生産者を市が認定するもので、当日は、書類審査を通過した生産者11人が出品。原産地呼称管理委員会の会長に就任したマスターソムリエの高野豊さんら4人の審査委員が、外観や味覚、香りなどを点数で評価し、審査の結果、全員が認定されました。



## 人権センターまつり

8月19日、人権センターまつりを開催しました。当日は、人権センター利用者などの作品や、児童・生徒が制作した人権啓発ポスターが展示されたほか、中央公民館講堂で講演会を行いました。講演会では、女性津軽三味線ユニット「来世楽」の2人が演奏と歌を披露。津軽三味線が音楽として世間に認知されていなかった悲しい歴史を語り、感謝の心で奏でる迫力のある響きに、会場の皆さんから大きな拍手が沸いていました。



## 信州中野ぶどう応援プロジェクト

8月5日、JA中野市ぶどう集出荷センターにおいて、小学生らがぶどうや動物の壁画を共同制作しました。これは「信州中野ぶどう応援プロジェクト」としてJA中野市ぶどう部会と結文舎などが主催したもので、50人余りの親子が参加。下絵が描かれた横6疋、縦5疋のキャンパスに子どもたちはペンキで丁寧に色を付け、大きなぶどうや動物の姿を完成させました。出来上がった壁画は、ぶどう集出荷センターに設置されています。